

バルブ操作だけで、簡単かつ短時間にスプリンクラー配管の水抜きができ、
全てのスプリンクラーに設置可能な、これまでになかった画期的な真空ポンプ

SP 真空ポンプ

スプリンクラー設備用

- ・ポンプ本体がステンレス製の為耐用年数アップ
- ・凍結防止機構装備
- ・異常加熱警報装備
- ・防振機構標準装備
- ・自動点検機能標準装備
- ・メンテナンスフリー
- ・水も空気も大量吸引



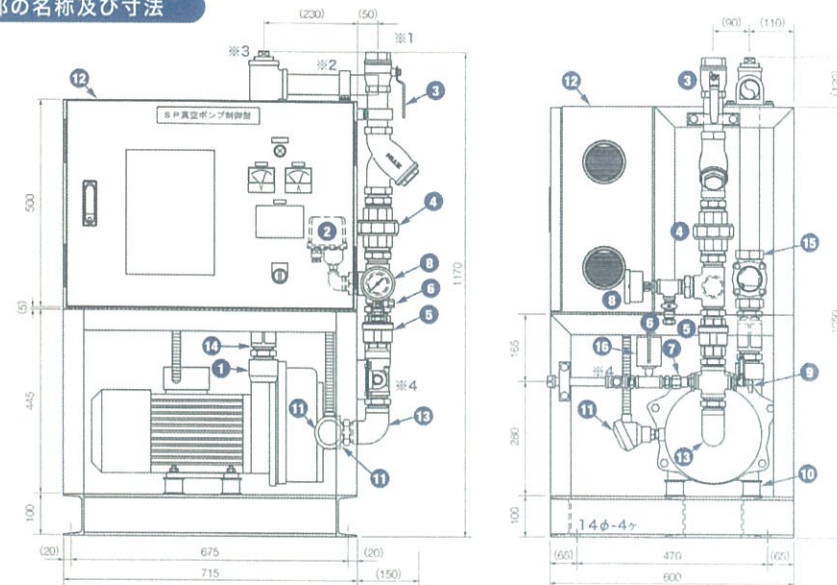
動画配信中



スプリンクラー真空充水

検索

各部の名称及び寸法



※1:SPドレン管を接続する。(40A) ※2:水槽に吐き出し、または排水管に接続(40A)注:空気排出注意 ※3:最初に呼吸水4Lを注入する。
※4:間接給水補給(15A)

① 真空ポンプ40A(SCS)	⑤ 真空チャッキ弁40A	⑨ 常時吸込弁15A(開)	⑬ 絶縁エルボ
② 真空スイッチ10A	⑥ 真空試験弁15A(閉)	⑩ 防振架台	⑭ 絶縁ソケット
③ 主管弁40A(開)	⑦ 定流量弁15A	⑪ 温度センサー15A	⑮ サイトグラス
④ 定流量弁50A	⑧ 連成計60Φ-8A	⑫ SP真空ポンプ制御盤	⑯ 給水電動弁

製品仕様

製品名	SP真空ポンプ
型式	AVP
吸気量	151m ³ /h
吸水量	110L/min
吸引圧	-0.09MPa
補給水量	8L/min以上
電源	AC200V(400V)-3Φ-50/60Hz
電力	6.3kw
重量	210kg
冷却方式	自吸式・補給水式 兼用

▶ Front



▶ Side



搬入用キャスター付き

●本カタログの図面は予告することなく変更することがあります。

開発元

有限会社 K&G

〒275-0026 千葉県習志野市谷津7-7-26-508
TEL&FAX.047-474-9376 <http://kandg.jimdo.com/>
e-mail vsp@s4.dion.ne.jp

お問い合わせはこちらまで



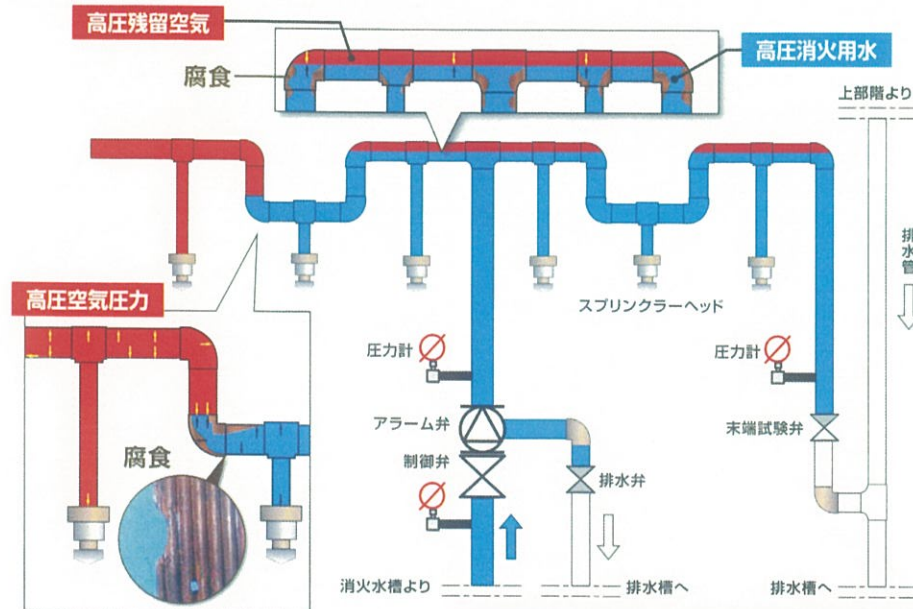
共同防災工業株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿6丁目27番8号
TEL.03-5155-8810(代表) FAX.03-5155-8820
e-mail eng@kyodobosai.co.jp

従来充水方式(大量の残留空気)

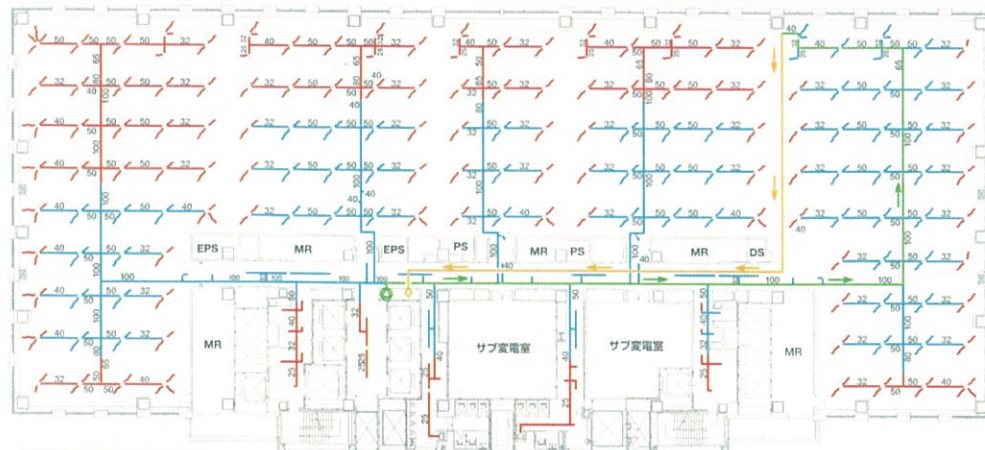
水を抜いた配管内部には空気が存在します。そのままの状態では充水すると配管内部の空気は末端に追いやられて圧縮され、大量の酸素が水に溶け込み高濃度の溶存酸素となり配管腐食を加速します。

スプリンクラー配管残留空気概念図



- 火災発生時、放水遅れが発生する恐れがある
- 火災発生時、高圧空気噴出により火災拡大の危険性がある。
- ヘッド作動時、分解部品を吹き飛ばし人傷事故の危険性がある。

スプリンクラー配管残留空気検討図



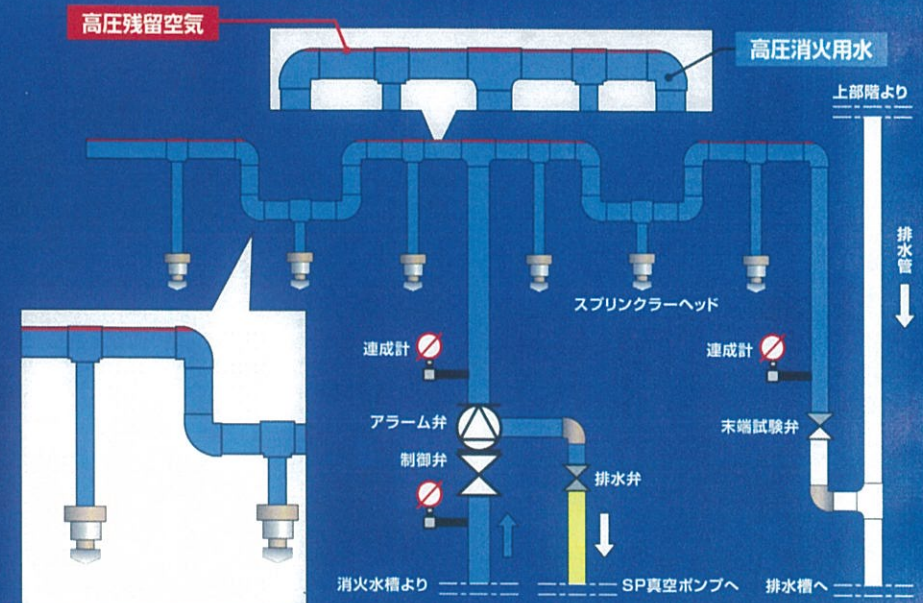
全体配管内容積：3100L

- 高圧残留空気
- 高圧消火用水
- 空気が抜ける配管(給水送り配管)525L
- 空気が抜ける配管(給水送り配管)75L
- 流水検知装置
- 末端試験井(空気抜き井)

真空充水方式(従来方式の10分の1)

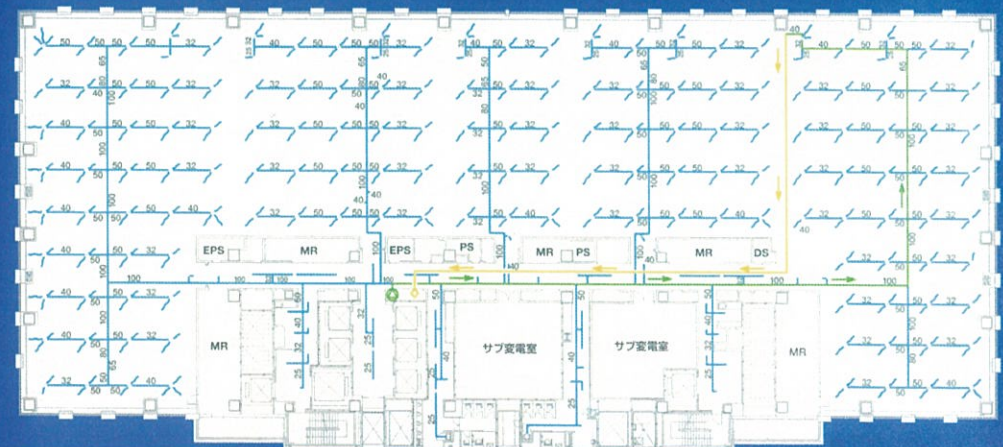
充水作業の前に真空ポンプを起動し、スプリンクラー配管内部の空気を抜き取ってから充水を行えば、溶存酸素の発生を低減し腐食から配管を守ることができます。

スプリンクラー配管残留空気概念図



- 火災発生時初期から放水する。

スプリンクラー配管残留空気検討図



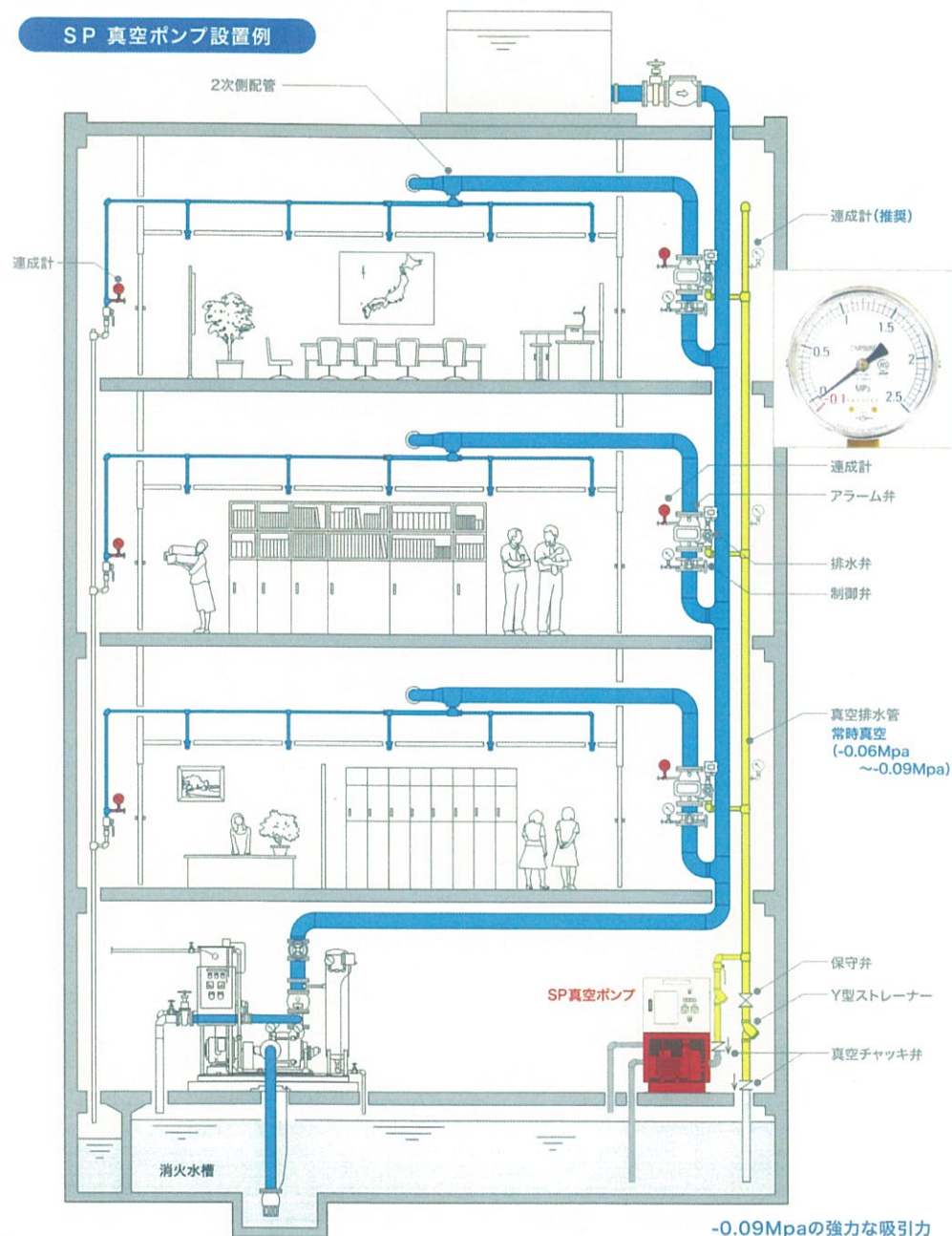
全体配管内容積：3100L

- 高圧残留空気
- 高圧消火用水
- 空気が抜ける配管(給水送り配管)525L
- 空気が抜ける配管(給水送り配管)75L
- 流水検知装置
- 末端試験井(空気抜き井)

全てのスプリンクラー設備に設置可能

既存の消火配管設備はそのままの状態、排水配管にSP真空ポンプを接続するだけで、全てのスプリンクラー設備に設置が可能で、かつ大掛かりな工事はありません。

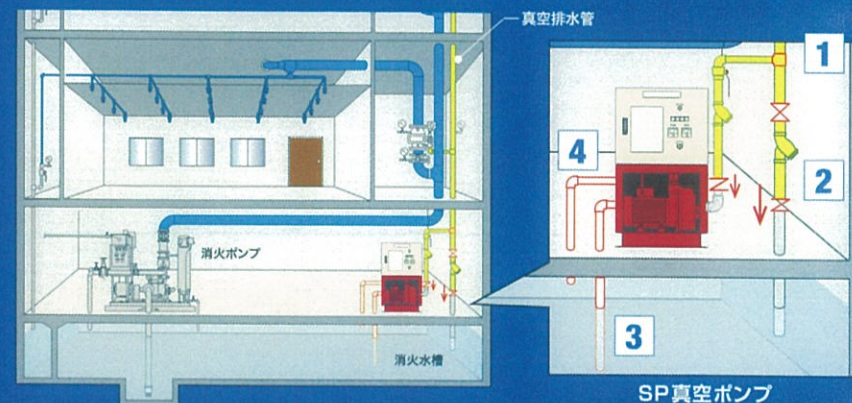
SP 真空ポンプ設置例



-0.09Mpaの強力な吸引力

設置工事が簡単

既存の配管をそのままの状態で利用できますので、設置工事が簡単です。



- 1 真空ポンプユニットを排水管に接続
- 2 Y型ストレーナーと真空チャッキ弁を排水管に接続
- 3 冷却用配管の施工 (15A)
- 4 吐き出し配管の施工 (40A)

真空ポンプ設置例



チャッキ弁設置例



水損を許さないシステムへのリニューアルも容易

水損を防ぐ「真空スプリンクラーシステム」にも利用されている高性能な真空ポンプですので、BCPとして水損防止に優れた真空スプリンクラーシステムへの切り替えも容易です。また、入居テナント変更などにも柔軟に対応できます。

※詳しくは、真空スプリンクラーシステムパンフレットをご覧ください。